

### 3.5. 鹿児島大学

日時：平成27年1月28日（水）

場所：鹿児島大学教育学部

対応者：教育学部附属教育実践総合センター 教授、准教授、職員 計5名

#### 【鹿児島大学の取組み】

##### 1) 鹿児島大学の連携体制

鹿児島県教育委員会とともに事業を行うことは少なかったが、平成16年に大学が法人化され、その後鹿児島県教育委員会との連携は外せないものとなった。平成18年頃、文部科学省の「教師の授業力向上」事業を行い、県からの招へい教員を増加する流れとなった。平成19年以降、県との連携協議会を年1回開催し、詳細な事案まで協議を行っている。大学から「実践的な教職に関わる事業」や「教育実習等情報」を提供し、教育委員会からは「教員採用に関わる情報」をいただいている。

その他、県総合教育センター、日置市、いちき串木野市とも連携している。大学に近い自治体に対しては、「学生ボランティア派遣」や大学教員が市の研修に貢献する「講師アドバイザー派遣事業」を行っている。日置市には「TA20名」、いちき串木野市には「青少年健全育成のための塾39名」を派遣しており、ボランティア体験後の振返りの時間も確保している。

##### 2) 教員養成基礎講座

平成19年から、鹿児島県教育委員会と連携して「教員養成基礎講座」を開講している。

講座Ⅰは2年生を、講座Ⅱは3年生を主な対象としており、どちらも60名ほどの受講者が登録しているが、未登録でも当日聴講生として参加が可能である。また、教育学部だけでなく、他学部学生の参加も認められており、その参加率は5割を超える時もある。(平均3~4割程度)

講座内容はとても幅広いもので、人権やへき地に関する貴重な内容もある。講義の構成は講師に委ねており、演習形式の場合もあれば講義形式の場合もある。また、この講座は採用試験対策講座ではないが、最初の10回は採用試験の内容も意識し、参考になる旨を学生にアナウンスしている。貴重な講座のため必修化を望んでいるが、200名以上という受講者数に対応しきれないため踏み切っていない。

時間については、現在17時50分から18時50分という昼夜の授業の合間を利用している。講師確保の面では、この時間帯の方が来ていただきやすい。ただ、他学部の授業等に重なると受講者が減少してしまう。また、講義時間は1回60分となっているが、講師には話足りないこともある。しかし、1回120分になると学生の負担も大きくなる可能性がある。

講師については、大学教員、教育委員会、現職教員等に協力を要請している。教育委員会の派遣教員選出は、「保健体育なら保健体育の係長」等、その役職で決定しているので、スムーズに進んでいる。なお、第1回目の講座では、教職支援室の教員が学生に自主的な学習を勧めるようにしている。また、学校現場の先生を大学に招いて対面で話しをする回もあり、実際の学校現場を知る機会も設けている。

平成24年度入学生から、教育学部及び他学部で1単位として認定されるようになった（他学部についての詳細は下記のとおり）。平成23年度以前の入学生については、認定されない場合や卒業要件外で認定される場合など、学部によって異なっている。

#### 【平成24年度入学生から行われている他学部単位認定】

- 法文学部 → 自由科目として卒業要件以内1単位
- 理学部 → 卒業要件単位外として認定
- 工学部 → 随意科目として卒業要件単位外で認定
- 農学部 → 自由科目として卒業要件単位外で認定
- 水産学部 → 自由科目として卒業要件単位外で認定

### 3) 鹿児島大学の必修科目

1年次に、実践的教職科目である学校体験として「教職基礎研究」を受講し基礎を固める。

教育学部1年生全員を対象に鹿児島市内の小中学校で3日間の学校現場体験と事前事後指導を含む15回の講義やディスカッションを行う。そのため、1年生で行っていた「学校環境観察実習(奄美: 選択40名)」を2年次に移行した。

2年次には、附属学校や代用附属学校(鹿児島市立田上小学校、鹿児島市立伊敷中学校)で5日間の「参加観察実習」を行う。代用附属学校は実習協力校とは異なり、大学教員が主事として実際勤務している学校である。また、前述の「教員養成基礎講座Ⅰ・Ⅱ(選択)」や、実務家教員が模擬授業等教える「教職実践研究Ⅰ・Ⅱ(選択: 20名程度)」も行っている。教職実践研究では、1日学校体験や学級経営案の指導も行っている。

### 4) 教員採用試験対策プログラム

教員採用試験対策プログラムは、教育学部の就職委員会が中心となって行っている。教職を目指す学生の増加を目的とし、毎年行っている。他学部も参加でき、1年次から受講可能である。今年度は120名の参加があり、例年よりは参加が多く、学生の関心が高い。教育学部教員にもっと教員にさせるという意識を高めてもらい、履修カルテを用いた個別指導や講座の受講を促してもらいたい。

また、「教員養成基礎講座」との違いとしては、「教員採用試験対策プログラム」は(教員採用試験に対して)実践的なもの、「教員養成基礎講座」は教員としての資質を高めるために行っているものであることが挙げられる。その他、学生の採用試験体験記として「採用試験ガイドブック」も作成している。

#### 平成26年度 教員養成基礎講座Ⅰ(2年生対象) 受講生募集

本講座は、教師の魅力や教師としての専門性に関わる内容などを学び、将来教員をめざす者に求められる資質や能力を身に付けることを目的としています。また、鹿児島県教育委員会と鹿児島大学の連携・協力によって行われる講座で、現在の教育施策や課題など事例を交えた内容となっています。本講座を受講することで、教師になるための何をどのように学べばよいかという大学における学びの指針や教師になるための見通しを獲得することができます。昨年度から教育学部では、自由単位として単位が認定されることになりました。他学部生は、各学部の単位認定等について確認してください。

- ◇ 対象 教員を志望する鹿児島大学全学部の2年生(100名程度)
- ◇ 講師 鹿児島県教育委員会の先生方、鹿児島大学教育学部教員
- ◇ 日程 平成26年5月7日及び10月11日(計15回)  
期間中の毎週【水】曜日 17:00~18:00(60分間)
- ◇ 各講座の期日及び内容(予定) ※内容及び順序は変更されることもあります。



回	期日	教室	内 容
ガイダンス	5月7日(水)	305	受講登録確認、講師計画の説明、分科会希望の調査等
第1回	5月14日(水)	305	教師を目指す皆さんへ(教師の魅力)
第2回	5月21日(水)	305	教師になるために(教師の資質能力)
第3回	5月28日(水)	305	子ども理解とカウンセリングマインド
第4回	6月4日(水)	305	特別支援教育の基礎
第5回	6月11日(水)	305	教育史に学ぶ
第6回	6月18日(水)	305	教育関係法規の基礎
第7回	6月25日(水)	305	教育方法の基礎
第8回	7月2日(水)	305	教育心理と学習指導
第9回	7月9日(水)	305	国と鹿児島県の教育施策の動向と特徴(学力向上)
第10回	7月16日(水)	305	国と鹿児島県の教育施策の動向と特徴(生徒指導)
第11回	10月8日(水)	305	学習指導要領の基礎
第12回	10月16日(水)	未定	生きる力をはぐくむ授業づくり①(学校種・教科等別の分科会)
第13回	10月22日(水)	未定	生きる力をはぐくむ授業づくり②(学校種・教科等別の分科会)
第14回	10月29日(水)	305	人権教育の推進について
第15回	11月5日(水)	305	総括講義

- ◇ 申込方法及び受講者募集
  - 1 受講受付期間 平成26年4月9日(水)~5月7日(水)
  - 2 受講受付場所 各学部事務室(教務係または学生係)及び共通教育係窓口(共通教育棟1F)
  - 3 受講者の決定 定員を大幅に超えた場合のみ、抽選で受講者を決定し、5月7日(水)までに連絡します。
- ◇ オリエンテーション 平成26年5月7日(水) 17:00~18:00(教育学部講義棟305教室)
  - ※ 受講者登録の確認や講座計画の説明等を行うので、受講者は必ず参加してください。
- ◇ 問い合わせ先 鹿児島大学教育学部附属教育実践総合センター 協栄 郁文(おきさか いくふみ)  
Tel & Fax : 099-285-3427 E-mail wakiaaka@edu.kagoshima-u.ac.jp

#### 平成26年度 教員養成基礎講座Ⅱ(3年生対象) 受講生募集

本講座は、今後に教育実習を控えている3年生として理解しておきたい内容を中心に、教員をめざす者に求められる資質や能力を高めることを目的としています。また、鹿児島県教育委員会と鹿児島大学の連携・協力によって行われる講座で、本講座を受講することで、教育者としての情熱やより実践的な魅力に触れるとともに、教師になるための見通しをもつことができます。なお、2年生対象の講座を受講してなくても受講できる内容・構成になっています。昨年度から教育学部では、自由単位として単位が認定されることになりました。単位認定方法等については、各学部にて確認してください。

- ◇ 対象 教員を志望する鹿児島大学全学部の3年生(100名程度)
- ◇ 講師 鹿児島県教育委員会・現職の先生方、鹿児島大学教育学部教員
- ◇ 日程 平成26年5月7日及び10月11日(計15回)  
期間中の毎週【水】曜日 17:00~18:00(60分間)
- ◇ 各講座の期日及び内容(予定) ※内容及び順序は変更されることもあります。



回	期日	教室	内 容
ガイダンス	5月8日(木)	305	受講登録確認、講師計画の説明、フリートーク希望の調査等
第1回	5月15日(木)	305	教師の仕事と学校組織(学級経営を含む)
第2回	5月22日(木)	305	教師の資質向上のために
第3回	5月29日(木)	305	学校における教育課程の基礎知識
第4回	6月5日(木)	305	小学校外国語活動の基礎知識
第5回	6月12日(木)	305	現職教員とのフリートーク~やりがい、苦労、授業、学級担任、同僚関係~
第6回	6月19日(木)	305	総合的な学習の時間、キャリア教育の基礎知識
第7回	6月26日(木)	305	これからの特別支援教育
第8回	7月3日(木)	305	教育相談とコミュニケーション能力
第9回	7月10日(木)	305	教育関係法規の重要性
第10回	7月17日(木)	305	類島・へき地教育、遠隔教育の基礎知識
第11回	10月9日(木)	305	学習指導と評価
第12回	10月16日(木)	305	道徳教育と道徳の時間の指導
第13回	10月23日(木)	305	学校保健・安全の基礎知識
第14回	10月30日(木)	305	学校と家庭、地域社会の連携
第15回	11月6日(木)	305	総括講義

- ◇ 申込方法及び受講者募集
  - 1 受講受付期間 平成26年4月9日(水)~5月7日(水)
  - 2 受講受付場所 各学部事務室(教務係または学生係)及び共通教育係窓口(共通教育棟1F)
  - 3 受講者の決定 定員を大幅に超えた場合のみ、抽選で受講者を決定し、5月7日(水)までに連絡します。
- ◇ ガイダンス 平成26年6月8日(木) 17:00~18:00(教育学部講義棟305教室)
  - ※ 受講者登録の確認や講座計画の説明等を行いますので、受講者は必ず参加してください。
- ◇ 問い合わせ先 鹿児島大学教育学部附属教育実践総合センター 内 健史(うち たけふみ)  
Tel & Fax : 099-285-7853 E-mail : uchi@edu.kagoshima-u.ac.jp

#### 教員養成基礎講座Ⅰ(2年生) 受講申込書

学部・学科(専修)・学年	学部	学科(専修)	年
氏 名			
連絡先電話番号 携帯電話番号、確実に連絡がつくもの			
E-mail アドレス			

※ E-mail アドレスは講座に関する連絡(時間・教室の変更)等に利用します。丁寧な文字で正確に記入してください。  
【間違いやすいもの例】 q, 9: キュー-小文字, キュウ数字 ; : ; ハイフン, アンダーバー ; . : コンマ, ドット 0, 0, 0, Q: ゼロ, オ-大文字, オ-小文字, キュー など、間違えやすいものには読み仮名をつけてください。

#### 教員養成基礎講座Ⅱ(3年生) 受講申込書

学部・学科(専修)・学年	学部	学科(専修)	年
氏 名			
連絡先電話番号 携帯電話番号、確実に連絡がつくもの			
E-mail アドレス			

※ E-mail アドレスは講座に関する連絡(時間・教室の変更)等に利用します。丁寧な文字で正確に記入してください。  
【間違いやすいもの例】 q, 9: キュー-小文字, キュウ数字 ; : ; ハイフン, アンダーバー ; . : コンマ, ドット 0, 0, 0, Q: ゼロ, オ-大文字, オ-小文字, キュー など、間違えやすいものには読み仮名をつけてください。

## ◆総合講義「教員養成基礎講座Ⅰ・Ⅱ」の実践

### 1 概要

「教員養成基礎講座」は、全学部の教員志望学生対象の講座で、全学組織の教員養成カリキュラム委員会と連携しながら当センター教員が中心となって運営しており本年度が8年目の取組になる。教職の魅力や教師の専門性にかかわることを学ぶことにより、学生にとっての教師像を確かなものにし、大学における「学び」の指針や教師になるための見通しをもたせることをねらいとしている。

5月～11月に15回、2年生対象の講座Ⅰは水曜日、3年生対象の講座Ⅱは木曜日、17:50から18:50までの60分の講座として実施している。年度ごとの受講者数は表1のとおりである。

平成22年度から始まった「実践的コア・サイエンス・ティーチャー(CST)養成スクール」における選択授業群の一つとなっており、2名(研究科1年生)が受講している。

表1 受講生の推移(H21～H25)

		講座Ⅰ(2年生対象)					講座Ⅱ(3年生対象)				
		H21	H22	H23	H24	H25	H21	H22	H23	H24	H25
受講者総数		29	40	51	86	55	76	42	59	82	39
学部別 内訳	法文学部	2	4	9	5	11	5	5	4	12	8
	理学部	1	6	8	7	8	9	3	4	14	11
	工学部	2	0	0	0	0	0	3	2	1	1
	農学部	0	0	0	3	3	0	2	2	1	3
	水産学部	0	4	0	1	0	1	0	1	1	0
	教育学部	24	20	28	64	32	61	23	40	47	15
CST(M1)		-	6	6	6	1	-	6	6	6	1

### 2 本年度の講座内容と講師

鹿児島県教育委員会や教育実践総合センター教員を含む学部内教員等の協力を得て、表2のとおり「オムニバス形式」の形をとって実施している。

表2 平成25年度の講座内容と講師

講座Ⅰ(2年生対象)		講座Ⅱ(3年生対象)	
1 教師をめざす皆さんへ	教職支援室	1 学校組織と教師の仕事	教育学部
2 教師になるために	教育学部	2 教師の資質向上のために	教育学部
3 子ども理解とカウンセリングマインド	教育学部	3 学校における教育課程の基礎知識	教育学部
4 特別支援教育の基礎	教育学部	4 小学校外国語活動の基礎知識	教育学部
5 教育史に学ぶ	教育学部	5 現職教員とのフリートーク	現職教員4名
6 教育関係法規の基礎	退職校長	6 総合的な学習の時間、キャリア教育の基礎知識	教育学部
7 教育方法の基礎	教育学部	7 これからの特別支援教育	教育学部
8 教育心理と学習指導	教育学部	8 教育相談とコミュニケーション能力	教育学部
9 国と鹿児島県の教育施策の動向と特徴(学力向上)	県教育委員会	9 教育関係法規の重要性	教育学部
10 国と鹿児島県の教育施策の動向と特徴(生徒指導)	県教育委員会	10 離島・へき地教育、複式教育の基礎知識	県教育委員会
11 学習指導要領の基礎	教育学部	11 学習指導と評価	教育学部
12 生きる力をはぐくむ授業づくり①	県教育委員会	12 道徳教育と道徳の時間の指導	県教育委員会
13 生きる力をはぐくむ授業づくり②	教育学部	13 学校保健・安全の基礎知識	県教育委員会
14 人権教育の推進について	県教育委員会	14 学校と家庭、地域社会との連携	県教育委員会
15 総括講義	教育学部	15 総括講義	教育学部

